



伝統文化の継承を通じた地域の活性化

ふるさと はらむつ ふじのみや
いいな故里は、守ろう原睦み会（静岡県富士宮市）

- 当該地域発祥の和紙原料である「静岡種三椏（みつまた）」の栽培、原料づくり及び紙漉きを地元小学生と実施し、農村文化の継承及び世代間交流に寄与している。また、漉いた紙により小学校の卒業証書が作成されている。
- 「富士山浅間大社」の大しめ縄用の「大白糸綿」米を地元中学生と一緒に栽培し、収穫後には大しめ縄をつくり、伝統文化の継承を通じて地域の活性化を図っている。

【地区の概要】

- ・取組面積：33ha
(田29ha、畑4ha)
- ・資源量：開水路 25.3km
農道 18.3km
- ・構成員：自治会、小学校等
- ・交付金：約1.5百万円
- 農地維持支払
資源向上支払(共同活動)

取組内容



静岡種三椏の栽培風景



大白糸綿の収穫風景



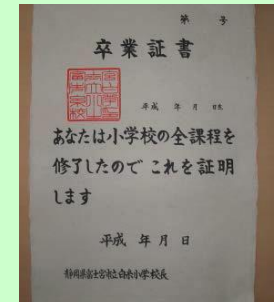
農業体験風景

- 地元小学生と、当該地域発祥の和紙原料である「静岡種三椏」の栽培、原料づくり及び紙漉きを行い、卒業証書として配布している。
- 地元中学生と、大しめ縄の材料となる「大白糸綿」米を栽培し、大しめ縄を作り、「富士山浅間大社」に奉納している。
- 小学校と連携し農業体験を実施

活動の効果



紙漉き体験



和紙で作成した卒業証書



大しめ縄

- 地元小・中学生と一緒に農村伝統文化を継承する活動を行っており、これらの活動が地域における世代間交流や地域の活性化に寄与している。